

ムダなダムをストップ！！

事務局だより No. 58 2017年4月1日 ムダなダムをストップさせる栃木の会

第23回観察会のご案内

ヤマナシお花見会

南摩ダム建設予定地で野鳥、川虫等の観察をします
観察会の会場は、ダムの底に沈むために立ち退きを余儀なくされた
かつての粟沢集落の人々の生活の場です
ダムに沈む県道の付け替え工事のための工事用道路を少し歩きます
ダム本体工事が始まろうとしている南摩
粟沢には大きなヤマナシの木があります
毎年4月にはヤマナシの白い花が満開になります
秋にはたくさんのヤマナシの実が付きます
この春、ヤマナシはどんな姿をみせてくれるのでしょうか

日 時：4月22日（土）9：00～ 13：00

集合場所：鹿沼市上南摩・室瀬バス停付近

持ち物：昼食、飲み物、観察用具適宜

参加費：100円

共 催：日本野鳥の会栃木・ムダなダムをストップさせる栃木の会
思川開発事業を考える流域の会・水環境条例制定ネットワーク

ハツ場ダム・思川開発・湯西川ダムの裁判報告書

各都県ごとの裁判の要点、裁判で明らかにしてきたダム事業の問題点を
網羅し、裁判所内外の関連する動きも追っています。

各都県のストップさせる会の活動報告、今後の課題、弁護士、
原告、証人、意見書のリスト、年表など資料も充実しています。

自費出版で1000部、一冊1000円（実費）、

送料は当面、一冊につき350円です。

貴重な記録としてお手にとってお読みくださるようお願いいたします。

ご希望の方は栃木の会事務局あてにご連絡をお願いします。

南摩ダム建設予定地で

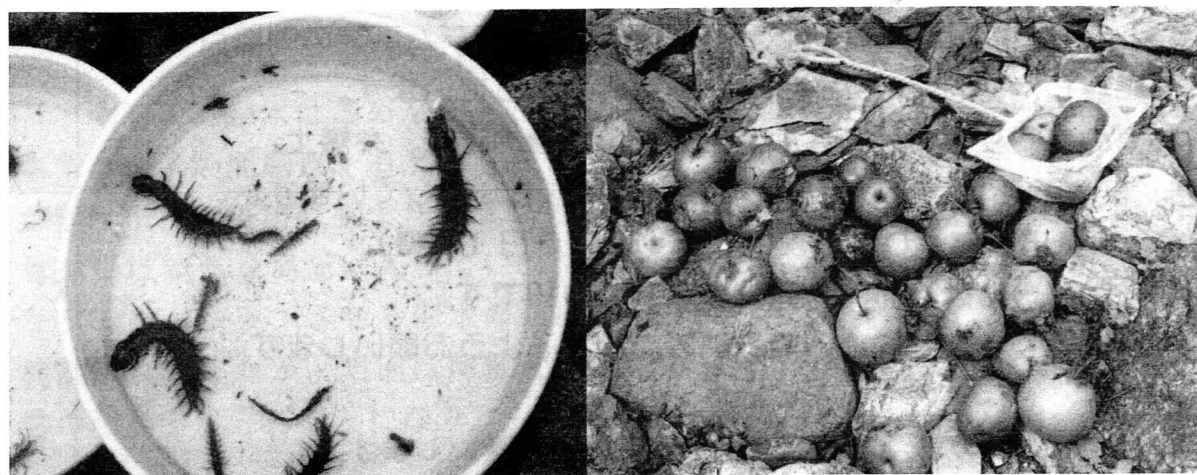
秋の観察会をおこないました

ダム本体工事が始まろうとしている南摩で

野鳥、川虫の観察をしました

2016年10月22日(土)

写真は観察会風景。 下左は清流に生息するヘビトンボ幼虫、右はヤマナシの実。



思川開発事業は事業継続が決定

2017年度政府予算案では、本体工事には着手せず、
付け替え道路工事などの生活再建事業をすすめることが
決定された

17年度予算案

思川開発19億2300万円

八ツ場ダムは346億1100万円

22日閣議決定された20

00億円。

用が計上された。

(久保正洋)

17年度政府予算案で、国土交通省が8月、事業継続を決定した鹿沼市の思川開発事業（南摩ダム）には前年比41・7%増の19億2300万円が計上された。このほか本県関係では八ツ場ダム（群馬県）に同55・7%増の346億1100万円、霞ヶ浦導水事業には前年と同水準の12億5300万円が配分された。

利根川の氾濫防止などを目的とした八ツ場ダムは19年度の完成を目指し、引き続きコンクリート堤体をはじめとした本体工事などを進める。

那珂川の濁水対策や霞ヶ浦の浄化などを目的とした霞ヶ浦導水事業は、施設の設計や維持補修のための費

国交省によると、思川開

発事業は付け替え道路工事などの生活再建事業を進める。本体工事には着手しない、という。利用者負担分などを含めた17年度事業費は25億4400万円。現段階での総事業費は、事業実施計画ベースで約1850億円。本県の負担分は約2

2016年12月23日 ⇒
下野新聞

ムダなダムをストップさせる栃木の会の今後について

とりあえず活動は継続することに

「不味くて高い水はごめんだ」と思川開発事業の利水の問題点を追求する新しい団体が栃木市、下野市に生まれ、南摩ダムの反対運動は新たな局面に入っています。ムダなダムをストップさせる栃木の会は解散が検討されましたが、当面は解散せず、栃木等の活動を見守ることになりました。

ムダなダムをストップさせる栃木の会

事務局：鹿沼市貝島町472-7

TEL：0289-63-1571

FAX：0289-63-1571

年会費：3,000円

郵便振替口座：00140-1-500609